

第48回 福崎町消防団消防操法大会開催



軽トラ市

まるまる

“福崎 まるしえ”を開催

日時 6月24日(日) 11:00~15:00

場所 JR福崎駅前みなと銀行跡地

特産もち麦を使ったメニューや地場産野菜の販売のほか、さまざまなフードトラックが集まる食のイベントを開催します。ぜひお越しください。



問い合わせ先
地域振興課
(内線391)

夏休み親子教室

地震の時どうする? どうなる?

東日本大震災から7年。いつ、どこで地震は起きるかわかりません。夏休みを機会に親子でいざという時どうするか...考えてみませんか?

日時 7月22日(日) 10:30~13:00

場所 生活科学センター

対象 小学生およびその保護者
(4年生までは必ず保護者同伴)

内容 ・災害時に役立つエコ工作
・非常食を味わってみよう等

講師 日本赤十字社兵庫県支部奉仕課員

参加費 無料

募集人数 20組40人(先着順)

申込締切 7月13日(金)

持参物 筆記用具、水筒

動きやすい服装でお越しください。

申し込み・問い合わせ先
福崎町生活科学センター
☎22-4977 月曜日休館

共催 福崎町消費者の会



「第45回福崎秋まつり」 「ひょうご森のまつり2018」 同時開催決定!

開催日 11月4日(日)

場所 福崎町エルデホール周辺

福崎秋まつりは例年、11月に2日間で開催していましたが、今年は森に親しみ、森を育てる大切さを体験・実践する「ひょうご森のまつり2018」を福崎町で開催することになり、2つのまつりを同時開催することとしました。1日限りの開催となりますが、大勢の方に楽しんでいただけるよう企画しています。詳細は広報9月号でお知らせします。お楽しみに!

福崎夏まつり花火打ち上げの スポンサー(寄附)企業を募集!

福崎夏まつりの花火は、企業の協賛により打ち上げています。まつり運営委員会では、花火を盛り上げるためのスポンサー(寄附)企業を募っています。みなさんで夏まつりを盛り上げませんか。

寄附額: 1口 25,000円

期限: 6月15日(金)まで

*ご厚意をいただきました企業名は、8月上旬に町内新聞折り込みの「まつりのチラシ」に掲載させていただきます。



問い合わせ先

福崎町まつり運営委員会 事務局
(地域振興課 内線392)

“広げようフラワーボランティアの輪”

福崎町内の花壇などのお世話をしているボランティアの活動予定(6/20~7/19)をお知らせします。ぜひボランティア活動にご参加ください。

ココロクラブ

6月23日(土) 9:00~ 役場周辺街路樹下手入れ
みどりのグループ

6月20日(水) 9:00~ 元JA八千種前花壇

7月4日(水) 9:00~ 七種川沿い新町花壇

問い合わせ先 文化センター ☎22-3755
(コミュニティ推進専門員)

行事予定(6月16日～7月4日)				
月	日	曜日	時間	行事
6	16	土	11:00	おはなし会
6	23	土	14:00	子ども映画会 「日本の昔ばなしうばすて山 ほか」
7	4	水	11:00	えほんのじかん
7月5日(第1木曜日)資料整理のため休館				

たなばた会

7月1日(日)
10:00～16:00



- ☆七夕かざり(玄関前にたくさんの笹が並びます!)
- ☆おはなし会
- ☆映画会
- ☆本探しゲーム・フクちゃんサキちゃんをさがせ! など

新 着 図 書

八千種研修センター 図書室

☎22-1564

一般書10冊

- 「友達以上探偵未満」 麻耶 雄嵩
- 「隣のずこずこ」 柿村 将彦

毎年6月23日～29日の1週間は「男女共同参画週間」です

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには政府や地方公共団体だけでなく、町民の皆さん一人ひとりの取組が必要です。私たちのまわりのパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか。

走り出せ、
性別のハードルを超えて、今



(平成30年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ)
(社会教育課)

三木家 de 風鈴づくり 参加者募集

夏といえば風鈴。三木家に涼を呼ぶペットボトル風鈴をつくります。ペットボトルに絵を描いたり、飾ったり、組立はだれでも簡単にできます。

完成作品は、三木家の「手づくり風鈴展」で展示します。家族そろって、ご参加ください。

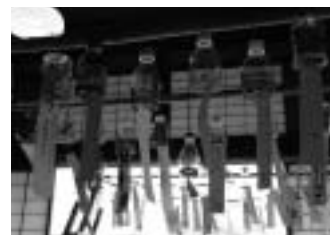
日時 7月14日(土) 9:30～15:00

参加費無料 時間内にいつでも参加できます。

作成時間は15分程度。 持ってくるものなし。

涼しさ感じる「手づくり風鈴展」

風鈴の音色に涼しさを感じ、夏のひとときを三木家で過ごしませんか? たくさんの手づくり風鈴が、みなさんをお待ちしています。



会期 7月14日(土)～8月26日(日)

(土曜日・日曜日・祝日のみ開館)

時間 9:00～16:30(入館16:00まで)

会場 三木家住宅(福崎町西田原1106)

問い合わせ先 社会教育課(内線256)

文化センター行事予定(6/19～7/18)

神崎学園

日時: 6月21日(木) 10:00～12:00 専門講座
7月5日(木) 13:20～15:20 専門講座

福寿学園

日時: 7月5日(木) 10:00～12:00 専門講座
7月12日(木) 10:00～12:00 専門講座

老人大学一般教養講座(公開講座)

日時: 6月21日(木) 13:20～15:00
演題: 免疫力アップのための脳トレーニング
講師: 脳力トレーナー 三鍋和美さん

サルビアセミナー(公開講座)

日時: 6月22日(金) 13:30～15:00
演題: 男女共同参画時代のテレビのつきあい方
～サザエさんからニュース番組まで～
講師: NPO法人SEAN 理事長 小川真知子さん

上記公開講座は、一般の方も参加していただけます。どうぞ、お越しく下さい。



福崎町消防団 消防操法大会開催

5月13日、福崎東中学校で、第48回福崎町消防団消防操法大会を開催し、城谷団長以下533人の消防団員が消防操法競技を展開しました。出場は自動車ポンプの部1分団、小型動力ポンプの部31分団で、成績は次のとおりです。

【小型動力ポンプの部】

- 優勝 庄分団
- 準優勝 福田分団
- 第3位 駅前分団
- 第4位 大門分団
- 第5位 吉田分団



小型動力ポンプの部 優勝 庄分団

なお、小型動力ポンプの部優勝・庄分団は、7月1日に兵庫県広域防災センターで開催される第27回中播磨地区消防操法大会に出場します。(住民生活課)

近畿人権擁護委員連合会 会長表彰

5月23日、姫路人権擁護委員協議会定期総会で『近畿人権擁護委員連合会会長表彰』の伝達式が開催され、人権擁護委員の玉置明美さんが表彰を受けられました。



長年人権擁護委員の職にあり、職務上顕著な功績があった方を表彰し、その功績に報いるものです。今後ますますのご活躍を祈念します。(住民生活課)



彫塑・工芸「流れ - 5」
横田 和則(明石市)



書「初夏の雨」
田辺 昌司(たつの市)

町長賞

第36回 福崎町美術展 受賞者決定!



日本画 松岡映丘賞「赤いけし」
吉岡 夏子(姫路市)



洋画「竹林の径」
芳木 利行(姫路市)



写真「躍動！」
山本 悦郎(高砂市)

第36回福崎町美術展がエルデホールで開催されました。5部門195点の応募があり、審査の結果、次の方々が受賞されました。おめでとございませう。

(文化センター)

(敬称略)

賞	日本画	洋画	書	写真	彫塑・工芸
福崎町議会議長賞	大内 康幸(市川町)	足立 哲郎(朝来市)	木多 妙子(市川町)	多田 正昭(姫路市)	長谷川千賀子(加東市)
教育長賞	平石 聡子(姫路市)	植山 孝(丹波市)	宮田 秀信(福崎町)	藤澤 昌信(市川町)	中村 巧(姫路市)
文化協会長賞	西崎 邦子(姫路市)	後藤ゆみ子(福崎町)	藤本 照子(福崎町)	妹岡 実(赤穂市)	西村真由美(福崎町)
商工会長賞	吉川 勝子(姫路市)	八馬 順子(西脇市)	川端 順子(福崎町)	川上 敏之(高砂市)	窪田 一正(加古川市)
兵庫西農業協同組合長賞	藤田 照美(福崎町)	西尾修太郎(姫路市)	岩本里江子(姫路市)	八木 義明(三木市)	木村 義春(福崎町)
神崎郡美術協会長賞	小林 久美(姫路市)	藤本摩理子(姫路市)	中須賀祐子(姫路市)	谷 和代(姫路市)	片山 新(宍粟市)
奨励賞	井上 絹代(姫路市)	坪田 賢一(福崎町)	鍛示 正子(福崎町)	鈴木 紀雄(姫路市)	福井 鎮雄(福崎町)
	増田 幸子(加西市)	福井 悟(姫路市)	石原 達也(福崎町)	浅尾 建次(姫路市)	石飛 政子(市川町)
		藤原小太郎(高砂市)		高田 恭子(稲美町)	佐藤 詩子(三木市)

施設紹介 第一体育館

体育館では、健康スロークンナーに健康・二に笑顔・三に明るい町づくり」を掲げ、体育館、グラウンド、スポーツ公園、さるびあドームなどのスポーツ施設の管理やスポーツ大会・教室などの自主事業の運営を行っています。

スポーツ大会は、毎回多くの方に参加いただき、熱戦を繰り広げています。また、トレーニングジムを利用したフィットネス教室

をはじめとする、多種多様な教室も開催しています。

みなさんが気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加し、心身の健康増進と体力の向上が図れるよう、また、スポーツを通して交流が深められるようさまざまな活動を展開していきます。



5月は、兵庫県治水・防災協会会長として毎週のよう

に東京へ出張してました。役員会・総会・陳情を繰り返し、県の進める安全安心のまちづくりを訴えてまいりました。県の代表としての活動後に、当町の実情も訴えてまいりました。

今年の天候は少し異常な



第48回消防操法大会
福崎町長 橋本省三

気がしています。梅雨前に、昨年のような記録的豪雨がないようお願いしつつ、災害への備えを進めています。みなさんの地域では溝普請が終わったことと思います。

住宅の周りや家の中なども事前に安全確認をしてください。治水・防災協会会長として、特にみなさんにお願います。

町の治水・砂防事業の要望は全て採択され、順調に進んでいます。住民・自治会・町が一体となって、協力して災害に備えたいと思います。

幼児交通安全教室を開催しました

4月17日から26日まで、町内の各幼稚園・こども園で幼児交通安全教室「うさちゃんクラブ」を開催しました。

交通安全協会婦人部福崎支部のみなさんはそれぞれ信号機の各色のTシャツをまとい、正しい横断歩道の渡り方について指導を行いました。



園児たちは交通ルールについての話を聞いたり交通安全の歌と一緒に歌ったりして、楽しみながら交通安全について学んでいました。

教室の最後には婦人部の皆さんが「交通安全」の願いを込めて作ったペンダントが園児たちに配られました。



(住民生活課)

食育通信

～姫学こども園のとりのくみ～

姫学こども園では、食べ物を大切にしよう、そして感謝をしようという思いから、子どもたちと一緒に野菜の栽培をしています。

2月、4歳児の子どもたちがじゃがいも植えに挑戦しました。地域の方に教えてもらいながら、畑に肥料を混ぜて土作りをし、種芋を切り植えつけました。毎日、畑へ行き「おいしいじゃがいもができますように」と願いを込めた子どもたちの思いが通じ、今は青々とした葉っぱが顔を出しています。



じゃがいもの成長を喜び、今後の収穫を楽しみにしています。大きく育ったじゃがいもが収穫できますように。





大事にしているもの

福崎西中学校1年(当時)

小畑友利奈

皆さんが大事にしているものは何ですか。私には、大事にしているものが三つあります。

一つ目は、「家族」です。家族がいなければ、今ここに私は存在していません。

私は六年生の時、急性虫垂炎になり、手術をして約一週間入院をしました。最初は、入院するほどでもないという軽い気持ちでした。しかし、病院へ行くたびに病気が見つかり、緊急手術をしました。それから入院しました。まともに歩けない状態で、立つことも困難でした。

入院中、毎日のように家族が来てくれていました。この時、家族と過ごす時間はとても短く感じました。家族が帰ると、とても静かになり、心細くなりました。いつも私のそばには当たり前のように家族がいます。しかし、いざ会えなくなると、こ

んなにさみしくなるのだと気がきました。数日後、点滴をしながらか歩くことができるようになり、少しずつ回復し、退院することができました。このように色々できるようになったのは家族のおかげです。これまでを振り返ってもたくさんの方が家族のおかげで乗りこえられたと思います。入院して、家族のありがたさ、大切さに改めて気付くことができました。

二つ目は、今この「瞬間」です。私は、「こうしておけばよかった。あんなことをしなればよかった。」と後悔をすることがあります。しかし、過去は変えられません。どんなに後悔しても、その時は戻って来ないからです。しかし、未来は変えられます。後で後悔しないようにするために、今を大事にしたいです。やり直すということは難しいことですが、始めることは

難しくないと 생각합니다。私は、過去にとらわれず、今この瞬間を大事にしていきたいです。人のねうちも、過去ではなく、今のがんばりだと思っています。

三つ目は、「命」です。最近、ニュースでやるせない事件が流れています。人が殺されたという事件です。「人を殺してみたかった。」や、「うざかった。」という様な理由で多くの命が奪われています。自分の子どもまで殺す親もいます。命というのは、たった一つです。どうしてそんなに簡単に人の命を奪うことができるのでしょうか。

三年前、私の親戚のお姉ちゃんが、ガンで中学三年生という若さでこの世を去りました。私は、お姉ちゃんと数回しか会ったことがありませんが、最初は明るく元気で太陽のような人でした。しかし、次に会った時は、ベッドで寝たきりの状態で、言

葉を発することもできなくなっていました。お姉ちゃんと最後に会ったのはお葬式でした。お葬式で、お姉ちゃんの家族が「よく頑張った。」と涙を流しながら言っていました。私は、その通りだと思いました。中学生でとても重い病気と必死に闘っていたからです。私は、人の命ってこんなにはかないものなのだと思いました。だから、私は命を大切にしようと思い決めました。生きたくても生きられない人もいるからです。生きていて、つらいこと、悲しいこと、うれしいこと、色々あります。

失敗が続くこともあります。人生は、成功と失敗のくり返しだと思います。しかし、生きていて絶対に損をすることはないと思います。これから私は多くの壁にぶち当たると思っています。その壁を一つずつ乗り越えていきたいです。中学三年生という若



八千種小学校1年(当時) 岡本結衣



高岡小学校3年(当時) 森本瑛音



田原小学校5年(当時) 田中万麗奈



福崎東中学校1年(当時) 深見萌杏

人権標語

さで、この世を去った親戚のお姉ちゃんの方も精一杯生きていこうと思います。

皆さんも、今一度、自分が大事にしているものは何かをじっくりと考えてみてはどうでしょうか。

「ごめんね。」とすなおにいえるとすくなかなおり
福崎小学校2年(当時) 高橋徹匠

がんばって みんなの心はひとつだよ
田原小学校6年(当時) 福永夏鈴

ありがとう その一言で 広がる笑顔
福崎西中学校2年(当時) 楠田一葉

思いやり 心の花が咲いていく
福崎東中学校2年(当時) 大汐麻実

生活科学 センター だより

ハイ！
神崎郡消費生活
中核センター
相談員です



高齢者をターゲットにした強引な訪問販売にご注意！

〔相談〕

昨晩仕事を終えて家へ帰ると、高齢の母がいつもと違う布団を敷いていることに気がついた。どうしたのか母に聞くと詳しいことは話そうとしなかったが、家に一人になる日中に訪問販売の業者が来ていたようだ。

普段使っていた布団を業者に見せると「羽毛が汚れて傷んでいる。身体によくないから打ち直した方がいい」と勧められ、言われるがまま布団をリフォームする契約をしてしまったらしい。リフォームする布団は業者が持つて帰るので、代わりの布団として新しい布団も買わされていた。詳しく聞くと思っただが、母は気が動転しているようでそ

れ以上は聞けなかった。

契約書を見ると、布団のリフォーム代金15万円と新しい布団の代金20万円で、合計35万円の契約をしている。代金はまだ支払っていないが、リフォーム代金が高額過ぎるし新しい布団も必要ない。母も普段使っていた布団を返して欲しいと言っている。どうすればよいか。

（50歳代女性）

〔処理〕

相談者に契約書などの書類をすべてセンターまで持ってきてもらい、確認しました。契約書に記載された契約日は昨日になっており、書面を受け取ってから8日以内だったのでクーリング・オフはがきの書き方を伝えました。また念のためにはがきのコピーをとって保管しておき、郵便は簡易書留で出すよう助言しました。

はがきが届いた頃合を見てセンターから業者へ電話を掛け、対応を尋ねました。業者からはクーリング・オフを受け付けると回答があったので、商品を返却する手続きを相談者にしてもらいました。

業者には今後契約相手が高齢者などの場合は、トラブルをさけるために家族の同意を得るよう念押ししました。

〔アドバイス〕

勧誘時に「ダニが発生している」「健康に悪影響がある」などと言って不安をあおり、強引に布団のリフォームの契約や必要のない高額な布団を購入させる訪問販売のトラブルが増えています。また、そのトラブルの多くが高齢者を狙ったものです。

全国の消費生活センターに寄せられた65歳以上の高齢者の相談件数は、平成28年度では約24・4万件で相談全体に占める割合も27・5%と高くなっています。その中でも訪問販売は、店舗購入に次いで相談件数の多い販売方法です。訪問販売は、契約書を受け取った日から8日以内であればクーリング・オフができます。トラブルを早期発見することが重要です。

高齢者の中には騙されていることに気がついていないか

たり、家族に相談すると怒られてしまうと思いい契約したことを隠してしまう人も少なくありません。高齢者自身が気をつけるだけでなく、高齢者と暮らす家族の方はいつもと何か違った様子はないか気に掛けたり、日中どんなことがあったか日常的に話すようにしましょう。

また、近隣で声を掛け合うことも消費者トラブルの未然防止や早期発見に繋がります。高齢者の消費者トラブルを防ぐためには、家族だけでなく地域の人みんなで見守ることが

大切です。
おかしいなと思った時は、ためらわずに消費生活センターへ相談してください。

消費生活の相談や問い合わせ、苦情は、神崎郡消費生活中核センターへ

（☎22・4977）

秘密厳守 相談は無料
相談日時 火～金曜日
9時～16時

（月曜日は休館日）

蛍光灯・乾電池の収集を開始

平成30年6月から、粗大ごみの日に蛍光灯と乾電池の収集を始めました。

ごみステーション内に専用のかごを設置しています。袋に入れたり、箱や厚紙などに包んだりせず、そのままかごに入れてください。



住民生活課（内線372・373）